

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人計算科学振興財団
-----	----------------

設立年月日	平成20年1月22日	
団体の設立目的・沿革	スーパーコンピュータの活用による研究開発、スーパーコンピュータの産業利用及び普及啓発に関する事業を行うことにより、「富岳」を中核とする計算科学の研究教育拠点を形成するとともに、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	産業利用促進事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部推進課
	人材開発事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部推進課
	普及啓発事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部推進課
	研究支援・研究教育拠点形成推進事業	自主事業、企画調整局医療産業都市部推進課
代表者	理事長 秋山 喜久	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-	-	-	-
市派遣職員	1	1	-	-	-	3	5
市OB職員	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	18	-	2	7	12	40
合計	2	19	-	2	7	15	45

財務状況 (単位：百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	10	△ 3	13
当期正味財産増減額	10	4	6
流動資産	263	262	1
流動負債	231	259	△ 28
長期借入金 (固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	138	123	15

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	シミュレーション・クラスター発展への寄与
ミッション②	産業競争力強化への寄与

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	スパコンの産業利用の裾野拡大
--------	----------------

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.158	0.395	0.2ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	17.09%	20.38%	3.3ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	-0.20%	0.63%	0.8ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	221.78%	238.89%	17.1ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	100.85%	113.88%	13.0ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	12.62%	14.38%	1.8ポイント
持続性	自己資本当期純利益率（ROE）	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	1.71%	4.43%	2.7ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	1.71%	4.43%	2.7ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～		
中長期的ミッション												
シミュレーション・クラスター発展への寄与	・計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業(最先端研究への助成) ・一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を創出			・計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業(最先端研究への助成) ・一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を創出			・計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業(最先端研究への助成) ・一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を創出			・計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業(最先端研究への助成) ・一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を創出		
産業競争力強化への寄与	・産業界のスパコンの利活用の促進(技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など)			・産業界のスパコンの利活用の促進(技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など)			・産業界のスパコンの利活用の促進(技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など)			・産業界のスパコンの利活用の促進(技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など)		
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
スパコンの産業利用の裾野拡大	<p style="text-align: center;">FOCUSスパコン等の産業利用促進のための渉外活動 (企業訪問・オンライン会議・メール等による技術高度化コンサルテーションなど)</p> <p style="text-align: center;">講習会等の開催による人材開発・育成 (FOCUSスパコン利用講習会(毎月)、神戸シミュレーションスクール(1~3月)など)</p> <p style="text-align: center;">セミナー等の開催、展示会等への出展、団体等の見学対応などによる普及啓発 (一般向けスパコンセミナー(10月)、経営者・技術者向けスパコンセミナー(2月)、国際フロンティア産業メッセ(9月)など)</p>											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	スーパーコンピュータの産業利用の裾野拡大および人材育成に関する事業に取り組むことで、産業利用向けエントリースパコンとして財団が運用するFOCUSスパコンの年間利用法人数200法人の維持を目標とする。
	・普及セミナーの開催や展示会への出展、スパコン利用事例集の発行等による普及啓発	
	・企業等訪問、産学コンソーシアム等への参画等による渉外活動	
	・FOCUSスパコンの運用、講習会の開催、技術相談対応等によるHPC(ハイパフォーマンスコンピューティング)スタートアップ・ステップアップ支援	

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

・ 計算科学・計算機科学のCOE(研究教育拠点)形成促進事業を着実に進捗させた。
・ 一般向けスパコンセミナーなどスパコンを広く市民に知ってもらう機会を着実に創出した。
・ 産業界のスパコン利活用を着実に促進した（技術高度化コンサルテーション、セミナー開催、展示会出展など）。

（２）短期的ミッションの達成状況

・ FOCUSスパコン等の産業利用促進のための渉外活動を着実に実施した。 (目標：年間利用法人数200法人 令和4年度250法人)
・ 講習会等の開催による人材開発・育成活動を着実に実施した。
・ セミナー等の開催、展示会等への出展、団体等の見学対応などによる普及啓発活動を着実に実施した。

（３）市政への貢献・市民への還元状況

・ 一般向けスパコンセミナーの開催や神戸医療産業都市一般公開への参加
・ 分散コンピュータ博物館の運営や見学会の受入
・ スパコン利用成果事例集の配布、情報発信

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

（１）総合的意見

スーパーコンピュータの産業利用の裾野拡大や人材育成等の事業に着実に取り組み「富岳」を中核とする計算科学の研究教育拠点を形成するとともに、年間利用法人数の目標値を達成するなど、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与している。
--

（２）数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	着実に業務を遂行し、シミュレーションクラスターの発展や産業競争力の強化に貢献した。
短期的ミッション	産業利用促進、人材育成、普及啓発活動を通じ、スパコン利用のすそ野拡大に貢献した。
団体目標	各種事業を通じ、目標と定めていたFOCUSスパコンの年間利用法人数200法人の維持を達成した。
市への貢献・市民への還元状況	セミナーや一般公開を通じ、市民への普及啓発活動を実施した。

（３）今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体 継続的な見直しを要する団体 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体